

平成21年4月期 第1四半期決算短信

平成20年9月8日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド
 コード番号 2910 URL <http://www.rockfield.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩田 弘三
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループマネージャー (氏名) 伊澤 修
 四半期報告書提出予定日 平成20年9月12日

上場取引所 東大

TEL 078-435-2800

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年4月期第1四半期の連結業績(平成20年5月1日～平成20年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年4月期第1四半期	11,773	—	366	—	377	—	184	—
20年4月期第1四半期	11,455	5.4	580	5.5	581	1.3	313	5.9

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年4月期第1四半期	13.92	—	—	—
20年4月期第1四半期	23.57	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円		%	円
21年4月期第1四半期	24,880	—	19,956	—	80.2	1,502.59	—
20年4月期	25,838	—	20,077	—	77.7	1,511.65	—

(参考) 自己資本 21年4月期第1四半期 19,956百万円 20年4月期 20,077百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年4月期	—	18.00	—	22.00	40.00
21年4月期	—	—	—	—	—
21年4月期(予想)	—	18.00	—	22.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年4月期の連結業績予想(平成20年5月1日～平成21年4月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期連結累計期間	23,903	—	1,112	—	1,130	—	567	—	42.74
通期	48,745	3.3	2,520	0.4	2,559	0.6	1,263	△4.5	95.15

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年4月期第1四半期 13,394,374株 20年4月期 13,394,374株

② 期末自己株式数 21年4月期第1四半期 112,801株 20年4月期 112,727株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年4月期第1四半期 13,281,590株 20年4月期第1四半期 13,281,785株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっては3ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油価格の高騰による物価の上昇や個人消費の低迷、企業収益の伸び悩みによる設備投資の減少などが見られました。さらに米国経済の減速などの影響もあり、総じて景気は後退局面に入り、先行き不透明感は依然強いものであります。

そうざい業界におきましても、石油製品価格や原材料価格の高騰などの影響が継続しており、当業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

このような環境の中、当社グループは「たゆまぬ全員参加の“K A I Z E N”と大胆な“イノベーション”の風を起こそう！」のスローガンの下、付加価値・収益性の高いSOZAIオンリーワン企業を目指して、5月に第6次中期経営計画をスタートさせました。「健康」「安心・安全」「美味しさ」「鮮度」「サービス」「環境」の価値観の下、顧客ニーズに対応するため、高品質で付加価値の高い商品開発を行い、お客様に喜んで頂ける商品展開に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は11,773百万円となりました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

業態		平成21年4月期 第1四半期		平成20年4月期 第1四半期	
		売上	構成比	売上	構成比
RF1	サラダ	4,877	41.4	4,866	42.5
	フライ	2,090	17.8	1,850	16.1
	その他そうざい	1,694	14.4	1,465	12.8
	小計	8,662	73.6	8,182	71.4
神戸コロッケ		1,037	8.8	1,015	8.9
いとはん・三日坊主		450	3.8	455	4.0
RF1 Asia・融合		279	2.4	297	2.6
そうざいや 地球健康家族	そうざい	465	4.0	527	4.6
	弁当・米飯	212	1.8	200	1.7
	小計	678	5.8	728	6.3
ベジテリア		525	4.5	606	5.3
DELICArf-1		51	0.4	58	0.5
その他		88	0.7	109	1.0
合計		11,773	100.0	11,455	100.0

利益面につきましては、原油価格や原材料価格の高騰、さらに人材確保難による人件費の増加などの影響により、営業利益は366百万円、第1四半期純利益は184百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、前期末と比べて957百万円減少し、24,880百万円となりました。この主な要因は、法人税の支払等により現金及び預金が709百万円減少したこと、有形固定資産が73百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前期末と比べて836百万円減少し4,923百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等の減少634百万円、賞与引当金の減少289百万円等によるものであります。

純資産合計は、前期末と比べて120百万円減少し、19,956百万円となりました。この主な要因は、剰余金の配当292百万円、第1四半期純利益184百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.2%、1株当たり純資産は1,502円59銭となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べて729百万円減少し、当第1四半期末には5,328百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は19百万円となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益359百万円、賞与引当金の減少289百万円、法人税等の支払額621百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は252百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出166百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は459百万円となりました。これは、主に長期借入金の約定弁済165百万円、配当金の支払額292百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の実績と計画の進捗状況及び今後の予想を併せて検討した結果、第1四半期及び通期の連結業績予想につきましては、平成20年6月12日に公表した期初計画を修正しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。
2. 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。
3. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

(3) 追加情報

（有形固定資産の耐用年数の変更）

平成20年度の法人税法の改正を契機として固定資産の使用状況等を見直した結果、当第1四半期連結会計期間より機械装置の耐用年数を9年から10年に変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,448	6,158
売掛金	3,433	3,331
製品	58	54
仕掛品	56	53
原材料及び貯蔵品	144	177
その他	364	544
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	9,506	10,319
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,229	8,352
機械装置及び運搬具（純額）	455	477
土地	3,003	3,003
建設仮勘定	11	16
その他（純額）	783	707
有形固定資産合計	12,483	12,557
無形固定資産		
無形固定資産	279	304
投資その他の資産		
投資有価証券	386	403
差入保証金	584	581
長期預金	1,000	1,000
繰延税金資産	87	98
その他	561	581
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,611	2,657
固定資産合計	15,374	15,518
資産合計	24,880	25,838

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,297	1,224
1年内返済予定の長期借入金	725	750
未払法人税等	48	682
賞与引当金	231	520
その他	1,976	1,890
流動負債合計	4,279	5,068
固定負債		
長期借入金	552	692
その他	92	—
固定負債合計	644	692
負債合計	4,923	5,760
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	8,705	8,813
自己株式	△208	△208
株主資本合計	19,902	20,010
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66	82
為替換算調整勘定	△12	△15
評価・換算差額等合計	53	66
純資産合計	19,956	20,077
負債純資産合計	24,880	25,838

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成20年7月31日)
売上高	11,773
売上原価	5,203
売上総利益	6,569
販売費及び一般管理費	6,202
営業利益	366
営業外収益	
受取配当金	2
保険配当金	7
その他	5
営業外収益合計	16
営業外費用	
支払利息	4
その他	0
営業外費用合計	5
経常利益	377
特別損失	
固定資産除却損	17
特別損失合計	17
税金等調整前四半期純利益	359
法人税等	174
四半期純利益	184

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年5月1日
至 平成20年7月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	359
減価償却費	343
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△289
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	4
固定資産除却損	17
売上債権の増減額 (△は増加)	△101
たな卸資産の増減額 (△は増加)	25
仕入債務の増減額 (△は減少)	72
その他	173
小計	602
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△4
法人税等の支払額	△621
営業活動によるキャッシュ・フロー	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△20
有形固定資産の取得による支出	△166
有形固定資産の売却による収入	20
無形固定資産の取得による支出	△9
長期前払費用の取得による支出	△61
投資有価証券の取得による支出	△14
差入保証金の回収による収入	4
差入保証金の差入による支出	△7
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△165
リース債務の返済による支出	△2
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△292
財務活動によるキャッシュ・フロー	△459
現金及び現金同等物に係る換算差額	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△729
現金及び現金同等物の期首残高	6,058
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,328

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年7月31日）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年7月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年5月1日 至平成20年7月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年4月期 第1四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	11,455
II 売上原価	4,983
売上総利益	6,472
III 販売費及び一般管理費	5,891
営業利益	580
IV 営業外収益	9
V 営業外費用	8
経常利益	581
V 特別損失	25
税金等調整前四半期純利益	555
法人税等	242
四半期純利益	313

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年4月期 第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	555
減価償却費	347
売上債権の減少額	59
棚卸資産の減少額	35
仕入債務の増加額	43
その他	△248
小計	792
法人税等の支払額	△564
営業活動によるキャッシュ・フロー	228
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
3か月超の定期預金の満期と預入	△20
有形固定資産の取得による支出	△271
その他	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△326
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の借入と返済	△196
配当金の支払額	△239
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△435
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△534
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,163
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	4,628

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年4月期第1四半期）

当社グループは、同一セグメントに属する各種そうざいの製造・販売事業を行っており、当該セグメント以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年4月期第1四半期）

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年4月期第1四半期）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。